

県道昭和インター線（森下工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

バイパス道路をつくりま

地元の声

- ・現道は交差点が多くルートが複雑で昭和ICへのアクセスが分かりにくい。(観光客)
- ・現道は幅員が狭く、歩道が無い区間があるため非常に危険である。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 昭和村森下
- 事業内容: バイパス整備 延長 760m 道路幅 10.0m
- 事業期間: 平成26年度～
- 現在の交通量: 3,193台/日(現道 自動車) (R3年度)
- 計画交通量 : 7,000台/日(バイパス 自動車) (R12年度)

事業前

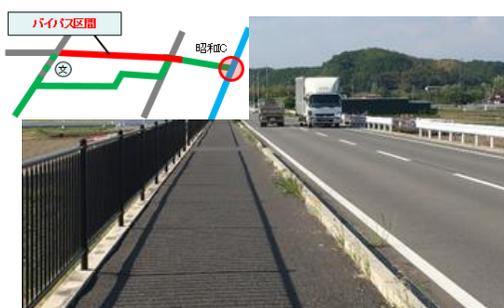
◆ 現道は線形不良で交差点も多く、昭和インターチェンジまでの通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

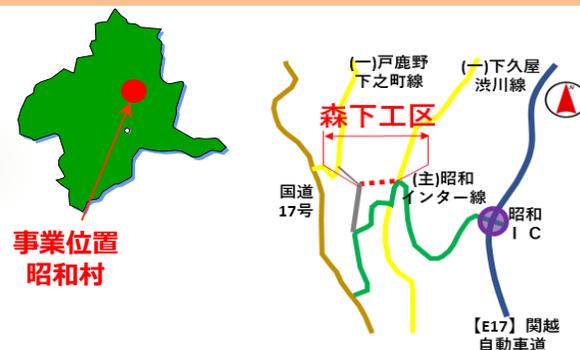
◆ バイパス道路によりインターチェンジまでの交差点数が減り、円滑な通行が確保されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
周辺観光施設の観光客数	37万人(H25年度)
交差点の箇所数 (昭和IC～村道1003号)	5箇所
車両と歩行者のすれ違い	危険(歩道なし)

実施後(目標)
37万人(維持)
2箇所(3箇所減少)
安全(片側歩道2.5m)



事業位置 昭和村

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



整備区間延長 760m



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了